

第55回経営協議会議事概要

日 時 平成25年1月21日（月）15時30分～16時30分
場 所 事務局特別会議室
出席者 中村（議長）、古川、有松、生田、福森、井関、笠井、石田、川本、國澤、坂根、
新木、中川、中西
陪席者 中村（慎）、山崎、櫻井、石原
欠席者 鈴木、濱田

1 前回議事確認

第54回経営協議会（12月21日開催）の議事について、確認した。

引き続き、財務・附属病院・同窓会担当理事から、前回、追加説明を求められていた事項（「医師及び医療従事者の増員について」の説明において、①地域医療連携室相談件数の推移、②入院廃用症候群患者の処方数の推移、③眼科視機能検査数及び年間手術件数の推移がいずれも22年度から増加している要因）について、配付資料に基づき説明があった。

2 協 議

(1) 中期目標・中期計画の変更

議長から、〔資料1〕に基づき、中期目標・中期計画の変更について説明があり、審議の結果、承認された。

(2) ライフライン再生計画の立案

財務・附属病院・同窓会担当理事から、〔資料2〕に基づき、金沢大学ライフライン再生計画の立案の趣旨について説明があった後、施設管理部長から詳細説明あった。その後、同再生計画の立案に対し、委員から次のとおり意見があった。

〈主な意見〉

- ・修繕が必要な箇所ごとに段階的に修繕することを考えるだけでなく、建物の建て直しをした場合の生産性の向上も含めて、検討すべきではないか。
- ・大学は民間企業とは違うため、利益を追求していない。教育・研究の環境を良くしたことについて、何か目に見えるようにしてほしい。
- ・予防保全や事後保全を考えて欲しい。

以上の意見を受け、議長から、教育・研究の環境の安心・安全を確保するうえでも費用対効果を検証するとともに、大学として強くするところに重点を置き実施する旨の説明があり、審議の結果、承認された。

(3) 国家公務員退職手当法改正への対応（案）

総務・人事担当理事から、〔資料3〕に基づき、国家公務員退職手当法改正への対応について説明があった後、委員から「大学のスタンス（法人の精神）をどれくらい周知徹底するかが重要であり、教職員を大切にしていることが伝わるのが大事である。」等の意見があった。総務・人事担当理事から、本学独自の経過措置の最終決定については、今後、学内への説明及び労働組合への説明を経て、本会議で審議する旨の説明があった。

3 報 告

(1) 平成24年度政府補正予算（案）

財務・附属病院・同窓会担当理事から、平成24年度政府補正予算（案）の概要について説明があった後、財務部財務企画課長から〔資料4〕に基づき詳細説明があった。

4 その他

議長から、教員の雇用上限について、今までの経緯及び今後の教員削減の検討状況について説明があった。

次回開催予定

第56回経営協議会 3月15日（金） 15時30分から